

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・くらし安全推進部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関する主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 交通事故による死者数(人)	a	a	27	15	24人以下	137.5%	a	1.00	
2 交通事故による死傷者数(人)	a	a	5,166	4,552	6,700人以下	132.1%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	平成29年度	平成30年度	令和元年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	c	c	42 6.2%	197 29.2%	269 39.9%	101 15.0%	66 9.8%	675	c
2 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	b	c	53 7.7%	271 39.3%	234 33.9%	78 11.3%	54 7.8%	690	c
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		b	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					平成 30 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。						平成 29 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・「犯罪発生(刑法犯)認知件数」や「交通事故による死(傷)者数」が着実に減少しているにもかかわらず、犯罪や事故に関するニュースが日常的に報道されており、犯罪や事故が身近に起こりうるといふ感覚があることから、体感治安が改善せず、c評価以下となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	違法駐車等防止対策事業	186,955	170,627	良い	行財政局
2	防犯推進委員連絡協議会助成	1,680	1,680	かなり良い	文化市民局
3	生活安全条例に基づく施策の推進	38,227	35,440	良い	文化市民局
4	世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動	181,446	194,698	かなり良い	文化市民局
5	交通安全対策の推進	80,816	78,135	かなり良い	文化市民局
6	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進	72,496	75,883	かなり良い	文化市民局
7	犯罪被害者支援策の推進	19,362	21,522	良い	文化市民局
8	繁華街における飲食店等による客引き行為等対策の推進	57,136	59,743	良い	文化市民局
9	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	37,495	40,710	普通	文化市民局
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・地域住民、区役所、警察署等で構成する学区・元学区単位の「安心安全ネットワーク」を対象に、補助事業や防犯活動で用いる物品の貸出しなどを行い、防犯をはじめとする自主的な活動の継続を支援する。
- ・「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」における取組の指針となる「全市版運動プログラム」に基づき、各行政区単位で、市民、区役所・支所、警察署等からなる区推進組織を中心に、「区版運動プログラム」により取組を進めるとともに、全市的な取組として、防犯カメラ設置促進補助事業等を進める。
- ・こうした事業により、課題となっている「体感治安」の向上を図る。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進
-----	------	------------------

指標名	交通事故による死者数（人）
-----	---------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	222-3193
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

交通事故発生から24時間以内の死者数

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年	平成30年		数値	根拠	達成度
数値	27	15	12人減	24人以下	第2次生活安全基本計画（改定版）における令和2年度の目標値（20人以下）から、各年度の目標値を等差的に算出	137.5%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
		20人以下	令和2年度	125.0%	第2次生活安全基本計画（改定版）

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a

指標名	交通事故による死傷者数(人)
-----	----------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	222-3193
-----	----------	-----	----------

1 指標の説明

交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年	平成30年		数値	根拠	達成度
数値	5,166	4,552	614人減	6,700人以下	第2次生活安全基本計画（改定版）における令和2年度の目標値（5,200人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	132.1%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
		5,200人以下	令和2年度	112.5%	第2次生活安全基本計画（改定版）

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a